

十勝農業の今を知り 未来を読み解く



2年連続で20万トンの収量が確保された小麦の収穫作業(7月、芽室町)

小麦

天候不順も
2年連続で20万トン超え

ホクレンが取り扱う2020年の十勝産小麦は前年比9.8%減の20万3000トンを見込んでいる。今年は6月の日照不足などがあり作柄が心配されたが、2年連続で20万トンを超え、平年作を確保した。

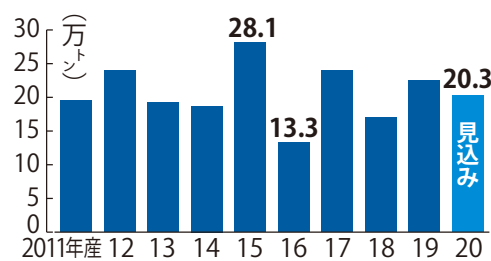
このうち、うどんなどに使われる中力の主力品種「きたほなみ」が19万ト(10.8%減)、パンなどに使われる超強力品種の「ゆめちから」が1万2000トン(9%増)を見込んでいる。

今年が開花期の天候に恵まれて粒数が多く期待が大きかったが、6月は極端な日照不足に見舞われ、収穫開始後には関係者から「粒は多いが細粒傾向」との声が聞かれた。ホクレン帯広支所も「極端な細さでは

ないが、日照や水分不足が実の太りを弱くした」とする。

ただ、収穫作業は雨に当たらず順調に進んだことから、等級はほとんどが1等級で、製品歩留まりも90%以上と高かった。

◆ホクレンの十勝産小麦取扱量



ジャガイモ

干ばつ後の
降雨響き個数少なめ

今年のジャガイモは天候不順の影響を受け、1個20g以上の「上イモ」が少なくない。5月の降水量が平年の30%ほどと少なく、その後、6月下旬に降雨が続いたことで地上の成長が一気に進み、地下部の成長が鈍ったとみられている。

春の植え付け作業は、土壌凍結や降雨で畑が乾かずにやや遅れが出たものの、ほぼ平年並みに終了。

開花期も平年通り6月下旬に迎えた。ただこの時期の降雨で地下部の成長が鈍り、「上イモ」の数は平年の66%(9月1日の生育状況調査)と少ない。半面、1個あたりの重さは平年を上回っている。でんぷん用では、でんぷん価を示す「ライマン価」が昨年よりやや高い傾向にある。



収穫されたジャガイモの仕分け作業(8月、帯広市以平町)



SDGsを積極推進

地域資源を活用した
地域環境に優しい、
持続する循環型農業を
めざします。



モンゴル EVERYDAY HARM社と業務提携

アイスシェルターは
寒さと水がエネルギー源。
冬は0℃まで暖房。
夏は0℃まで冷房。



新エネ大賞 新エネルギー財団会長賞 受賞
アイスシェルターは冬の寒冷な外気を導入して、水槽の水を凍結させて作った「自然氷」を冷熱源として夏の貯蔵庫を一定の低温に維持できる施設です。自然氷を利用、移動式氷室など、今後生産現場から市場に直結する新しい形態の流通システムが期待できると評価されました。



バイオガスプラント
家畜糞尿を利用したバイオガス発電プラント



バイオガスプラントは、家畜排泄物や食物残渣などをエネルギーとします。1日当り1頭の成牛から2m³バイオガスを発生、4kwの発電が可能です。

新エネ大賞 新エネルギー財団会長賞 受賞
平成25年度の一財団法人新エネルギー財団主催「新エネ大賞」において、「家畜糞尿を利用したバイオガス発電プラント」が新エネルギー財団会長賞を受賞しました。バイオガスプラントの提案、設計、施工、メンテナンスまでを一貫して提供し、畜産農業への普及に貢献していることが評価されました。



再生可能エネルギー固定価格買取制度「事業施工実績 平成30年6月現在 全国42カ所(7,916kw) 稼働中



植物工場
(無農薬で周年生産)

100%無農薬・99%外気遮断。自然環境に合わせて栽培される露地野菜と比べ、工場野菜は年間を通して作物の生育に適した環境で栽培できます。また、溶液により効率のよい生産が可能になります。

作物の安定供給

高い安全性と付加価値



株式会社

Think globally Act locally
土谷特殊農機具製作所

■札幌支店／札幌市東区東苗穂4条1丁目18番28号 TEL 011-780-2120
■北見営業所／北見市高栄東町1丁目11番37号 TEL 0157-22-6641

■釧根営業所／川上郡標茶町常盤3丁目15番地 TEL 015-485-3333
■中標津営業所／標津郡中標津町東6条南11丁目3番地3 TEL 0153-73-4377

■本社／〒080-2461 帯広市西21条北1丁目3番2号 TEL0155-37-2161

<http://www.tsuchiyanoki.com>

代表取締役 土谷 紀明

■帯広営業所／帯広市西21条北1丁目3番2号 TEL 0155-37-8833

■八雲営業所／二海郡八雲町東雲町107番地8 TEL 0137-66-9901
■興部出張所／紋別郡興部町字興部110番地5 TEL 0158-82-7267

